

つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 25th year since 1986

12月9日(木) 例会報告



点鐘をする川崎庄一会長

例会報告

本日は、日本トルコ文化交流会理事で、工学博士のイスピル・ラグブ氏をお招きして、日本-トルコ120周年記念として、「両国の歴史関係を学ぶ」卓話を頂戴いたしました。

卓話に先立ちまして、東郷治久会員よりイスピル・ラグブ氏のご紹介をいただきました。

東郷会員には、エルトゥールル号遭難事件を通して、日本とトルコの友好関係のご紹介をいただきました。

エルトゥールル号遭難事件とは、1890年9月16日夜半、オスマン帝国（その一部は、現在のトルコ共和国）の軍艦エルトゥールル号が、和歌山県串本沖、紀伊大島の檜野崎東方海上で

遭難し、500名以上の犠牲者を出した事件でありました。この事件が、日本とトルコの友好関係の起点として記憶されております。

現在、和歌山県串本町の檜野崎灯台そばには、エルトゥールル号殉難将士慰霊碑およびトルコ記念碑が建っています。また、町と在日トルコ大使館の共催による慰霊祭も5年ごとに行われております。

この事件は、トルコの教科書にも載っており、トルコの方々からの日本に対する印象をよいものとしております。

そのため、イラン・イラク戦争の折に駐留していた日本人が取り残されていましたが、それを聞いたトルコ航空が取り残された日本人を避難させるために2機の飛行機を飛ばしてくれました。これは95年前のエルトゥールル号の恩返しとしての行動であり、金銭的な要求は一切なかったそうです。そればかりかトルコ軍が護衛のための軍用機も派遣してくれていたそうです。

この事実を知った当時の小泉首相は、ヨーロッパ歴訪の折にトルコを訪問し、操縦士のところを訪れたそうです。操縦士は体調を崩していたそうですが、ご自宅を訪れて感謝状をお渡しされました。

このようなエピソードを重ねるごとに、日本とトルコとの友好関係は深まってまいりました。トルコにおいて、「どこの国が一番好きですか？」というアンケートが採られたことがありましたが、日本に好印象を持っていてくれる方が一番多かったそうです。

トルコにおいて日本に好印象を持っていてくれる方が多いのに、私たち日本人がトルコのことをあまり知らないというのも恥ずかしい限りです。

これを機に、私たちもトルコのことに関心を持ちましょう。本日はよろしく願いいたします。

本日のお客様の紹介をする
東郷治久会員



日本トルコ120周年記念「両国の歴史関係を学ぶ」



日本とトルコの歴史関係の卓話をするイスピル・ラグブ氏

「日本とトルコの歴史関係を学ぶ」卓話

日本トルコ文化交流会理事のイスピル・ラグブと申します。まずは、日本トルコ文化交流会のご紹介をいたします。

日本トルコ文化交流会は、日本とトルコ間での人々との生活文化の交流をすすめることによって、お互いを個人として尊重しあえるような地域コミュニティづくりに貢献することと、お互いの暮らしを豊かに高めていくような場づくりに貢献することを目的として2006年9月に創設されました。

ここからは、パワーポイントを用いて、両国の歴史関係を学ぶ卓話をいただきました。

卓話いただいた項目は、以下の通りです。

1. 異文化や生活を知る必要性

グローバル化した現代において、異文化や生活を知る必要性は高まっております。

2. 現在のトルコについて

国名：トルコ共和国 面積：779,452km²

首都：アンカラ 国家形態：共和制

行政区分：74県 人口：6,376万人

言語：トルコ語（公用語）、クルド語

1人あたりの国民総生産：3,130米ドル

通貨：1トルコ・リラ=100クルス

観光名所：アヤソフィア博物館、カッパドキア、

トロイ遺跡、イスタンブールなど

3. 日本トルコ間交流発展の必要性

グローバル経済の中で、1国の競争力だけでは生き残れない時代になっております。例えば日露戦争のとき、トルコもロシアと戦っていました。バルチック艦隊が日本に向かうのを阻止した歴史があります。

現在は経済の面で中国やインドの発展が目覚ましいですが、今後は日本とトルコがパートナーを組んで、両国の経済がともに成長できればよろしいと考えております。

4. エルトゥールル号遭難事件

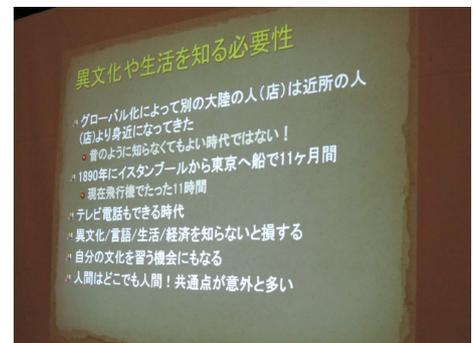
日本とトルコの友好関係の起点となったエルトゥールル号の詳細なご説明をいただきました。この遭難により587名が犠牲になりました。生存者は69名でした。串本町の住民達は総出で救助と生存者の会報に当たりました。また、知らせを受けた明治天皇はこの遭難に大いに心を痛め、政府として可能な限りの援助を行い、また多くの義捐金・弔慰金も集まりました。

生存者の方々は、1891年1月に日本海軍の「比叡」と「金剛」により、無事オスマン帝国の首都イスタンブールに送り届けられました。串本町には現在でも239名の遺体が埋葬されております。

この後、トルコを紹介するDVDを拝見いたしました。

イスピル・ラグブ様。今日は、貴重なお話を頂戴いたしましてありがとうございました。

参照：日本トルコ文化交流会 URL <http://www.nittokai.org/>



卓話の中で使用したパワーポイント資料の一部。



記念品を贈呈する川崎庄一会長



11月・12月奥様誕生日

Happy Birthday



前回の例会にご欠席されていた

宮川 健治会員
齊藤 修一会員
宮武 孝之会員

の3名が出席されておりましたので、奥様誕生日の記念品をお渡しさせていただきました。
お誕生日、おめでとうございます。

くれぐれも奥様にお渡しくださいね。宮武孝之会員！！

幹事報告



幹事報告をする皆葉真治幹事

幹事報告

「中学生と語る会」講師依頼の件

職業奉仕委員長 増山 栄

上記表題の講師依頼が届いております。

1. 目的 基調講演やグループ別ディスカッションを通して、職業に対する興味や悩み等についてアドバイスを行い、正しい職業観を身に付けるお手伝いをする。
2. 内容 ①職業体験学習の報告発表会
②グループ別ディスカッション
3. 日時 平成21年1月27日(木) 11:50分集合

4. 当日タイムテーブル(案)

- 11:50 集合 豊里中学校2Fランチルーム
- 12:00 例会 昼食
- 13:25 開会式
- 13:40 中学生職場体験発表
- 14:35 グループディスカッション① 20分間
グループディスカッション② 20分間
- 15:25 閉会式
- 16:00 解散

※ 講師の方にはグループディスカッションにおいてお話をいただきます。

5. 場所 豊里中学校 体育館

6. 参加者 第2学年生徒140名、2学年職員7名、保護者、講師約20名以上、よろしくお願ひいたします。



12月9日 会場スナップ①



本日はイスピル・ラグブ様に日本とトルコの卓話を頂戴いたしました。私自身イスタンブールにいくれば行ってみたいくらいの認識しかありませんでしたが、その歴史には深い話がたくさんありました。これからは興味を持って世界を知らないとだめですね。





12月9日 会場スナップ②



本日は、中山正巳SAA委員長が欠席のため、SAAの大役を岡本武志会員が務めておりました。緊張で岡本会員が震えていたのか、私の腕が悪いのか少しピントがぼけた写真になってしまいました。



移動例会のご案内



「Merry Christmas 2010」のご案内

開催日時 平成22年12月23日(木)
19:00~21:00
会 場 オークラフロンティアホテルつくば
アネックス1階 「昴・東中の間」
(お子様用のコースメニューもご用意しております。)

多数のご参加をお待ちいたしております。



新年会のご案内

日時 平成23年1月13日(木)
19:00~
(17:30分グランド東雲駐車場より送迎バス有)
場所 筑波山 江戸屋
会費 10,000円
宿泊者は、宿泊代が別途5,000円かかります。





11月 RI会長メッセージ

アフリカ支援



親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

1961年、私はロータリーの親善奨学生としてケープタウン大学で学んでいました。その地で暮らした期間に、南アフリカはもちろん、現在、ジンバブエ、ザンビア、ナミビアとなっている国々へ、16,000マイル(約2,600 km)の旅をしました。35のロータリークラブを訪ね、数え切れないほどのロータリアンに会い、私は南部アフリカの豊かな文化に夢中になりました。



奨学生としての経験をアフリカのために

初めて訪れたとき、私はアフリカの伝統や人々の生活における挑戦に関して真価を認めるようになり、この地と人々に対する私の敬意と賞賛の気持ちが、ロータリアンとなってからも幾度となく私をアフリカに呼び戻しました。そして今、これは驚くべきことですが、私のロータリー奨学生としての経験をアフリカにおけるロータリーの役割強化のために使うという特別の機会をもつことになったのです！

本年度は「アフリカ支援委員会(ROTA=Reach Out to Africa)」が始まって4年になります。そして今年度のROTA委員会は、より早く効率的に目標を達成するために手際よく活動しています。私たちはアフリカのロータリアンの数を増やす必要があります！ また、私はアフリカに対する国際奉仕プロジェクト、特にロータリー財団の支援を得たプロジェクトの実質的な増加を期待しています。ROTA委員会は素晴らしいウェブサイトをもっていますので、皆さんがwww.reachouttoafrica.orgを開いてご覧になることをお勧めします。

ロータリー財団の産物であることを誇りに思う

私は今年度、ロータリアンたちが気軽にアフリカを訪れ、彼らの国際奉仕プロジェクト参加を増やすための二つの奉仕活動を導入しました。一つは「Ray's Rotary Reunions (レイのロータリー同窓会)」で2月3～5日にケープタウンで開かれます。一人でも多くのロータリアンがこのイベントのために、最も汚れない岬にあるケープタウンに集まってくださることを期待しています。もう一つは、「Rotary Project Safaris (ロータリー・プロジェクト・サファリ)」です。貧困が広がり、地元のロータリアンたちが財政援助を必要とする数多くの有益なプロジェクトを開発している地域に、ロータリアンたちの訪問を容易にする奉仕活動です。この二つの催しに関するより詳しい情報は「RI会長のページ」www.rotary.org/presidentに出ています。ご質問があればelsa.sanabria@rotary.orgにご連絡ください。

私は、自分がロータリー財団の産物であることに誇りをもっています。そして、もし私がアフリカにおけるロータリー強化の懸け橋役を務めることができるなら、それはRI会長としてのもっとも意義のある業績となるでしょう！「レイのロータリー同窓会」と「ロータリー・プロジェクト・サファリ」に参集ください。アフリカのロータリーを「より大きく、豊かで、大胆に」するために、そしてアフリカのロータリー財団奨学生の輪をつくり上げるため、私に力を貸してください。

12月9日ニコニコBOX



石井健三	堀田健一氏、支援チャリティー公演チケットが完売いたしました。ご後援ありがとうございます。ドイツ留学中はトルコの友人とゲーテでドイツ語を共に学びました。人の良いトルコ人を思い出します。今週からロータリー2年目に入りました。
川崎庄一	妻の誕生日祝ありがとうございます。宮澤会員の後任の馬目さん、入会ありがとうございます。一緒にロータリーを楽しみましょう。宜しくお願いします。イスピル・ラグプさん卓話をいただきありがとうございました。
東郷治久	皆様、本日はトルコのお話を聞いていただきありがとうございました。これを機会に一度是非トルコを訪問してみてください。イスビル様、本日はわざわざありがとうございます。
野掘喜作	39回目の結婚記念のお祝いありがとうございました。我家では結婚祝は、お菓子を家族全員でおいしく頂いて終了いたしました。
野掘喜作	トルコの歴史関係の卓話、大変感激し、又勉強いたしました。よき仲間として友情が続けられればと思います。また、2月6日の「IM」どうぞ宜しくお願いいたします。
宮武孝之	妻の誕生日プレゼントありがとうございます。

本日の合計	¥28,000-
本年度累計	¥695,000-

出席率報告 12月9日(木) 例会

出席率72%以上 無届欠席ゼロを目指して

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	メイク・ゲスト	出席率
66名	47名	19名	1名	2名	1名	75.00%

プログラム予告 12月 親睦月間



12月16日 職業奉仕報告卓話
古本 捷治会員
11月・12月会員誕生祝

12月23日 『クリスマスパーティー2010』
会場：オークラフロンティアつくばアネックス「昴東中の間」
時間：PM6：30受付 PM7：00開



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>

編集後記

(クラブ会報委員長：鯨井)

●とうとう12月も半ばに差し掛かりました。年を重ねると1年があっという間に感じます。「なぜ年を追うごとに1年が早く感じるのか？」について面白い意見を伺いました。それは「分子は1年ですが、分母は自分の実年齢なんです」というご意見でした。

例えば10歳の方は、1年が10分の1の長さですが、50歳の方は1年が50分の1の長さということになります。この理論で考えると、確かに年を重ねれば重ねるほど1年間が短く感じますね。

●12月に入ってすることは多々ありますが、私が最も気が重いのが大掃除です。毎年今年目標は整理整頓だと思いましたが、12月に振り返ってみますと、何も変わっておりません。

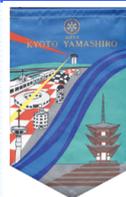
昨日片付けに関する書籍を読んでみました。そこに書かれているのは掃除のコツ(仕方)を知らないから片付けができないんですと書かれておりました。例えば整理整頓という意味は、清掃がいらぬものを選別して捨てるという意味で、整頓が使いやすいように物を配置するという意味だそうです。

確かに私はもったいないですとか、いずれ取っておくと使う機会があるだろうと思ひ、なかなか物を捨てられない性格です。当然物はたまる一方で片付けるスペースが確保できておりませんでした。

再度手に入れることが可能なものや、過去1年間使用していなかったものは取っておく必要がないので捨てるという選択肢もありですね。

身の回りが整理整頓できている人は頭の中も整理整頓できている可能性がたかいそうです。今年は捨てることから始めます。

例会日 木曜日 12:30~13:30
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364-1



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
(第2650地区)



つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email:gakuenrc@46gama.com